

編集後記

教育学部設置と同時に着任され、音楽コースの中核として、教育・研究に尽力されてきた宮田俊雄先生が2024年3月をもって定年退職を迎えることになりました。教育学部紀要17巻1号編集委員会では、宮田先生への感謝をこめて巻頭の特集を企画いたしました。まず目を通していただきたいものは、宮田先生、小杉先生、渡邊先生の共著となる随想（Essay）、『宮田俊雄「音楽の道・教育の道」』です。ここには、自身の才能に不安を感じながらも、友人とともに音楽の道を志した少年期、音楽大学を卒業後、教師として名古屋で子どもたちを教えながらも、勇気を振り絞ってドイツ留学へと踏み出す青年期、おそらく困難の連続であったであろう留学中の音楽修行の日々、そして音楽と教育の結びつきに至る思索の過程が、普段の先生の温顔と物腰が浮かび上がってくるような謙虚な語り口で綴られています。

宮田先生は、多くの学生たちとともに教育学部棟G階ロビーでミニコンサートを行い、卒業生を支援する「An die Musik」を企画されてきました。私にはG階で、学生たちとともにピアノを奏で、穏やかな笑顔で指揮棒を振る先生の姿が目に焼き付いています。随想の終わりには、これからも音楽と教育の道を歩む先生の新たな活躍が予告されています。宮田俊雄先生、これからも相山女学園大学教育学部に関わり、共に歩んでいただけることを願っております。

（野崎健太郎：相山女学園大学教育学部紀要17巻1号 編集委員長）

相山女学園大学 教育学部紀要 17巻1号

2024年2月26日発行

編集者 相山女学園大学教育学部
紀要編集委員会

編集委員
野崎健太郎（編集委員長）

発行 相山女学園大学教育学部
名古屋市千種区星が丘元町17番3号
〒464-8662 TEL 052-781-1186

印刷 株式会社あるむ
名古屋市中区千代田3丁目1-12
〒460-0012 TEL 052-332-0861